

早大生のための社会連携教育“IPPO”プログラム

tsunagaru

program in feb - mar. 2016

寒いけど
ちよっくらんに
会ってくる

マメゾウ



©2014 Gaku

春もやります！

この tsunagaru は、2014 年度からスタートした社会連携教育プログラムで、就業体験やインターンシップとは異なり、本学学生が社会に出て、地域で頑張っている人や企業の経営者に触れることを目的とした企画です。

未だ春休みの予定が埋まっていない、**あなたのための短期プログラム**です。

何を目的に、何にこだわり、何と戦っているのか…。

様々な分野で様々なシーンにおいて頑張っている人生の先輩達から、生の声を聞いてみませんか。



プログラム概要

2016 年春の tsunagaru プログラムは、以下の 2 種類、計 16 通りがあります。10 人いれば 10 通りの考え方があるように、各プログラムで接する先輩達は、それぞれに異なり、それぞれにステキな方々です。4～6 日間の日程ですので、気軽に申し込んでください。

①「chiikiru ～地域のオモシロい人に会おう～」(9 プログラム)

②「mochimasu ～社長のカバンモチをしてみよう～」(7 プログラム)



tsunagaru - chiikiru

①地域のオモシロい人に会おう

地域で頑張っている人に会いに行くプログラムです。田舎の親戚に会いに行く感覚で、気軽に参加してください。期間中は民泊等の共同生活を伴います。なお、参加費は、実施期間中の宿泊費・食費の一部負担金です(プログラムによって異なります)。全て現地集合・現地解散ですので、別途、現地までの交通費がかかります。

C-1

コメ作りから！全てにこだわる酒造り。 渡辺 吉樹 さん(新潟県 糸魚川市)

「テロワールを語ることでできる日本酒を作ること」にこだわり、小さな酒蔵ながら若手からベテランまで全員が力をあわせて酒造りに取り組んでいます。手作りの米と柔らかな地下水による「根知男山」。「最終的には人の感覚です。先ず根知谷に来て、体で感じて体にしみ込ませてください」

<http://www.nechiotokoyama.jp>

●期間：2016 年 3 月 4 日(金)～3 月 7 日(月) * 3 泊 4 日。 ●集合場所：JR 根知駅

●参加費：9,000 円 * スキーロッジ(従業員用)宿泊。ロッジの手伝いを含みます。

●参加人数：5 人 * 20 歳以上対象。



C-2

風の谷で、建設業者が農業？ 小田島 修平 さん(新潟県 糸魚川市)

長野と富山との県境に残されたように位置する“根知谷”。豊かな四季の風が吹き抜けるこの谷でも過疎化が進んでいます。小田島さんは、根知谷を守るために農業に参入しました。「ここに住む一人ひとりが将来を考えなければならないという現実を、学生の皆さんにも実感してもらいたいですね」

<http://nunagawa.ne.jp/oteteko/index.php>

●期間：2016 年 2 月 12 日(金)～15 日(月) * 3 泊 4 日。 ●集合場所：JR 根知駅

●参加費：9,000 円 * スキーロッジ(従業員用)宿泊。ロッジの手伝いを含みます。

●参加人数：5 人



C-3

父ちゃんがとってきて、母ちゃんが売る。 磯谷 光一 さん(新潟県 糸魚川市)

新潟県内でも有数の漁場で、多い時には 80 種類もの魚が水揚げされる能生漁港。赤い宝石と呼ばれる「のどぐろ」「甘エビ」「ズワイガニ」等々、豊富な海産物を扱う人々を束ねる磯谷さんのリーダー論は本質についています。この機会に、“歯に絹を着せない本音トーク”に触れてください。

<https://www.facebook.com/joetsu.gyokyou>

●期間：2016 年 3 月 7 日(月)～10 日(木) * 3 泊 4 日。 ●集合場所：JR 糸魚川駅

●参加費：8,000 円 * 民泊。 ●参加人数：4 人



C-4

Lady Kaga で日本のおもてなしを仕掛ける。 萬谷 浩幸 さん(石川県 加賀市)

加賀温泉郷にも受け注がれる日本独自の文化。それは、華やかな着物姿や繊細な日本料理にも表される、おもてなしの心です。萬谷さんは、3.11 の震災による自粛ムードの中、「このままではいけない」と、女性 100 人による「Lady Kaga」プロジェクトや「加賀温泉郷フェス」などにより、日本の心を発信し、地域活性化に尽力されています。 <http://ladykaga.me>

●期間：2016 年 2 月 29 日(月)～3 月 3 日(木) * 3 泊 4 日。 ●集合場所：JR 加賀温泉駅

●参加費：10,000 円 * 旅館(従業員用)宿泊。 ●参加人数：4 人



C-5

人が自然と共に生きるための、お茶作り。 伊川 健一 さん(奈良県 大和郡山市)

縄文人も暮らした神秘的な地、まほろば大和高原。伊川さんは、なんと 15 歳(!) で自然農法を決意し、日本のふるさとの原風景残るこの地で、自然栽培による香り豊かな大和茶を作っています。決して楽ではない、1,200 年前の農法にこだわる伊川さんの想いは、農業で自然と人をつなぎ、持続可能な希望に満ちた世の中にする事です。 <http://www.kencha.jp/index.html>

●期間：2016 年 3 月 7 日(月)～10 日(木) * 3 泊 4 日。 ●集合場所：JR 奈良駅

●参加費：10,000 円 * 共同生活(古民家泊。自炊含む) ●参加人数：4 人



C-6

葡萄を育てワインを育み、喜びを分かち合う。 齋藤 聡 さん（島根県 雲南市）

「自然に沿って、あるがままに暮らし、おいしくて安心な食を生みだそう」。そんな理想を持つ「食の杜」に共感し、齋藤さんは奥出雲葡萄園に移住してきました。人と自然、人とワイン、人と人から生まれる、幾つもの対話を願って作られたワインを味わいながら、“人の声”に耳を傾けてください。

<http://www.okuizumo.com>

●期間：2016年2月18日（水）～21日（日）＊3泊4日。 ●集合場所：JR 木次線 日登駅

●参加費：9,000 円 ＊共同生活（古民家泊。自炊含む）●参加人数：4 人 ＊20 歳以上対象。



C-7

「笑顔の輪が広がる」を仕掛ける女将。 小原 真弓 さん（佐賀県 嬉野市 / 福岡県 朝倉市）

キリッとしたお姿からは想像もできないほど、人間味溢れる（ドジな？）性格だと、自他共に認める小原さん。旅館の女将として、3人の母親として、妻として、「素直」「一生懸命」「感謝」を心掛けていらっしゃいます。「学生のみなさんと一緒に。悩んだり、夢を持ったりして生きているんです」

<http://harazuru-hanamizuki.jp>, <http://www.wataya.co.jp/index.html>

●期間：2016年3月12日（土）～15日（火）＊3泊4日。 ●集合場所：JR 肥前鹿島駅

●参加費：8,000 円 ＊旅館（従業員用）宿泊。 ●参加人数：4 人



C-8

佐賀牛ブランドに込める、人としての想い。 中山 敬子 さん（佐賀県 玄海町）

「一人ひとりの想いが伝わる経営がしたいのです」と語る中山さんの笑顔には、気負いは感じられません。そこには、「想い」がふれなければ、必ず良いコミュニティが生まれる、という確信があります。日々、スタッフと一緒に牛たちと向き合いながら、“牧場への想い”を育んでいらっしゃいます。

<http://www.ii29.net>

●期間：2016年3月13日（日）～3月16日（水）＊3泊4日。 ●集合場所：JR 西唐津駅

●参加費：8,000 円 ＊民泊。 ●参加人数：4 人



C-9

日本一の海苔を作るオヤジに訊く。 杉町 省次郎 さん（佐賀県 佐賀市）

「海苔」。どうやって育てられ、どうやって作られているか知っていますか？美味しい海苔を食べたことがありますか？有明海では、日本一の海苔作りにこだわり、後世に伝えることを真面目に考えている人がいます。… 大切にするもの。杉町さんにとってそれは海苔であり、そこにあるコミュニティです。

<http://www.jf-sariake.or.jp>

●期間：2016年2月15日（月）～20日（土）＊5泊6日。 ●集合場所：佐賀県庁

●参加費：無料。 ＊民泊。 ●参加人数：6 人



②社長のカバンモチをしてみよう

首都圏の中小企業の経営者（社長）の“鞆持ち”をするプログラムです。その時々判断が社運を左右する立場にいる方々の想いやこだわりに触れてください。何を見いだせるかは、あなた次第です。参加費は発生しませんが、現地集合・現地解散、かつ実施期間中の交通費や食費は個人負担となります。プログラム日程は4日間、参加人数は2名です。具体的な実施日は、基本的に、参加が決定した後に調整することになります。

M-1

株式会社 プログレス、KIZNA（江東区等） 代表取締役社長 鈴木 崇司 さん

地域の「かかりつけ」薬局。それは、処方箋調剤はもちろんのこと、薬、栄養、食生活等々、健康に関する相談窓口として、地域住民のサポートをするお仕事です。宮城県を中心に、茨城、栃木、千葉、東京と、精力的に展開し、薬剤師、管理栄養士等、薬局の人材育成も手がけていらっしゃいます。

＊基本的に江東区で実施する予定ですが、本店（宮城県）に連れて行って頂く可能性もあります。

<http://hinode-pharmacy.jp/index.html>

●期間：2月上旬～3月中旬



M-2

株式会社 ヨシカワ商事（新宿区） 代表取締役社長 江原 茂 さん

事務機器の販売やメンテナンスを中心に事業を展開しているヨシカワ商事さんは、その立地もあって、早稲田大学も随分とお世話になっています。今後、我々の生活にパソコンやロボットなどの先端技術が加速度的に入り込んでくるからこそ、「人との繋がり」や「人と人とのふれあい」を最重要課題として、企業がどうあるべきかを日々考えていらっしゃいます。

<http://www.yoshikawashoji.co.jp>

●期間：2月上旬～3月中旬



M-3

宮治通信工業 株式会社（中野区） 代表取締役 宮治 誠人 さん

通信工業材料… イメージできますか？宮治通信工業の製品は通信関連と鉄道関連に大別できますが、何れも、常に時代の先を行く技術を見えない所でサポートするものばかりです。北陸新幹線も支えています。宮治さんは、中野区の閑静な住宅街の一角で、日々ランナーとしても走りながら、会社のこと、社員のこと、地域のことを考えていらっしゃいます。

<http://www.miyajitsushin.com/index.html>

●期間：2月上旬～中旬



M-4

ニッポー設備 株式会社（国立市） 代表取締役 田中 友統 さん

「水と空気のことならお任せください！」という、日々の生活に欠かせない設備工事の専門企業です。多摩地区の人々に支持される企業であるために、快適な環境、エコ、震災対策等、日々変化する生活スタイルと顧客の期待に対しそれを上回る結果を目指し、技術とサービスの両立にこだわっています。「3.11の震災で今の仕事にアンカーが打たれたんです」と語るそのストーリーに触れてください。

<http://www.nippo-setsubi.com>

●期間：2月上旬～3月中旬



M-5

株式会社 エース（大田区） 代表取締役 西村 修 さん

全国100社余りの協力メーカーとのネットワークを確立し、鋳物から樹脂部品まで、あらゆる加工に対応できる体制を築いています。社長の西村修さんは、会社の代表であると同時に営業マンとしても活躍し、特急品や問題への対応など、日々駆け回っていらっしゃいます。大田区の中小企業が協力した「下町ボブスレー」のメンバーの中心の1人。

<http://www.ace-tech.jp>

●期間：2月上旬～3月中旬



M-6

株式会社 赤原製作所（座間市） 代表取締役 赤原 宗一郎 さん

「6mの鉄を切って、曲げる」ことをうたう、赤原製作所。職場は「ザ・工場」です。外国人も含め約50名の従業員を束ねる赤原さんは、気さくで楽しく活力があります。大学卒業後、普通にサラリーマンになって、家業を継いで、リーマンショックを乗り越えて…。ご苦労に触れるだけでもためになります。温泉、ラグビー観戦、読書が大好き。

<http://www.akahara.co.jp>

●期間：2月22日（月）～25日（木）



M-7

株式会社 フェアリーランド（横浜市中都筑区） 代表取締役・園長 菊地 加奈子さん

社労士の資格をもち、保育園の園長さんであり、5児の母親である菊地さん。ご自身の体験を活かし、働きながら子育てする女性を応援しています。「小さな子を育てながら働くことに閉塞感を感じる社会は悲しいです。『そもそも仕事も子育ても楽しいよね』って考えながら前に進んでいる人たちはとても素敵です」。

<http://www.fairy-land-2012.jp>, <http://fairy-k.jp>

●期間：2月上旬～3月中旬



参加者の感想

過去に「よかったです！」と言ってくれた学生に、その理由を聞いてみました。

「人に会うプログラムだったので参加しました。
インターンシップはインターンシップで良いのですが、ある程度やることが決まっているので」

「地域の方々とつながりも生まれて、色々な考え方ができた。
頭だけでなく、体で考えることもできた」

「働くことについて、リアルに考えることができた。
将来設計に役立てられた」

「リーダー像について、とてもいい勉強になりました。
とてもよくして頂いたので、心が温くなりました」

「仕事を動かすものは、心の内から来る地元への愛情や理想であると確信できた」

「同じプログラムに参加した仲間とのつながりを持つことができた」

「素晴らしいご縁を頂いたから」

「会社の皆さんに大変良くして頂き、
温かい雰囲気の中で4日間を過ごすことができた。
皆さんの生の意見を伺うことができ、私たち学生も率直に考えを述べることができた。
変に自分を押し込むことなく、自然体で交流することができた」

「日頃から、自分の世界が狭いな、と思っていて、変えたいなと思って参加しました。
本当に良かったと思っています。
ただ『よかった』だけではなく、そこから行動に移さなければいけないと思いました」

「受入側の手の掛けよう、力の入れよう、気持ちの入れように感動しました。
他人から、しっかり扱ってもらう経験は、他の誰かをしっかり扱おう、という循環につながります。
それがこのプログラムの価値だと思います」

参加するには...

募集期間	2015 年 12 月 18 日（金）～ 2016 年 1 月 13 日（水）17:00
対象者	早稲田大学に所属する正規学生（学部および大学院）
応募条件	プログラムの全日程への参加が可能であること（オリエンテーション、振り返り会を含む）。
募集人数	各プログラム共、若干名。
応募方法	以下の事項を Waseda-net Mail で送付してください [締切：2015 年 1 月 13 日（水）17:00]。 ・宛先：seminar02@list.waseda.jp ・タイトル：tsunagaru プログラム申込み ・内容：1) 氏名、ふりがな 2) 所属学部・研究科、学年、学籍番号 3) 年齢、性別 4) 希望するプログラム（希望順に1～3まで） *第3希望まで記入してください。なお、①どのプログラムでも構わない場合、 ②chiikiru ならどこでも構わない場合、③mochimasu ならどこでも構わない 場合は、それぞれその旨を記載してください。 5) 応募／希望理由（400 字程度） *希望者多数の場合は調整させていただきます。 *個人情報は本プログラムにのみ利用します（詳細「早稲田大学における個人情報の取り組み」。 http://www.waseda.jp/top/privacy-policy ※結果は、2016 年 1 月 18 日(月)までに Waseda-net メールアドレス宛にお知らせする予定です。
オリエンテーション	2016 年 1 月 29 日（金）18:30 ～ 20:00 @早稲田キャンパス 3 号館 203 教室 (CTLT Classroom3)
振り返り会	2016 年 3 月 22 日（火）16:00 ～ 19:00 @早稲田キャンパス 3 号館 203 教室 (CTLT Classroom3)
注意事項	・このプログラムは、科目としての成績評価・単位認定等はありません。また、オリエンテーションを含め、極力参加しやすい日時を設定していますが、万が一、正規科目と重なる場合はご相談ください（このプログラム参加は、授業公欠扱いの理由にはなりません）。 ・個人の日程管理に十分留意してください。 ・グループで行動しますので、他メンバーにも迷惑がかからないようにしてください。 ・個人の都合によるキャンセルの場合、参加費用の返金はできません。 ・実施期間中は、早稲田大学の学傷補等に参加します（http://www.waseda.jp/student/hoken/）。 ・chiikiru プログラムに参加する方は特に、これに加えて国内旅行保険に加入することをお勧めします。 ・複数のプログラムに重複して参加することはできません。 ・悪天候の影響によるスケジュール変更等、変更点が生じる場合は、速やかに WEB サイト等でお知らせします。



早稲田大学社会連携推進室

tel. 03-5286-8334

e-mail: seminar02@list.waseda.jp